

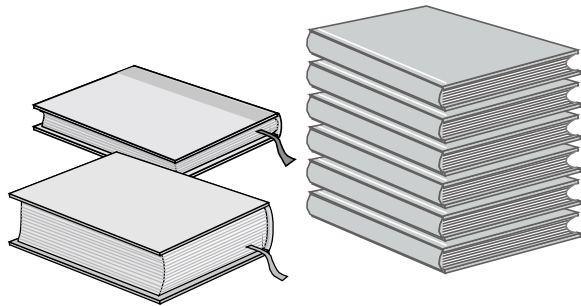


地域に開かれた 「オアシス文庫」

今回は、患者さんへのサービス部門の一つである「オアシス文庫」についてご紹介します。

オアシス文庫

オアシス文庫は平成元年、闘病中の患者さんに少しでも安らぎと精神的支えを提供したい、という病院職員の素朴な思いから開設されました。職員から寄贈本を募り、仕事の合間に皆でラベルを貼るなどの整理を行うなど、手作りの文庫として出発しました。



オアシス文庫開室時間

平日の 午前10時～12時30分
午後1時30分～4時
貸出しはお一人5冊まで
貸出し期間は2週間

当院では、病院ボランティア「りんどうの会」の皆さんが、正面受付でのご案内、車椅子乗降の補助など、毎日様々な場面で患者さんに接して活動しています。

オアシス文庫では、りんどうの会構成団体の、「砺波市ヘルスポランティア連絡会」の皆さんと、個人でボランティア参加された方々に、貸し出しと返却の仕事をお願いしています。ボランティアの皆さんが参加することで、オ

当初壁面一面のみから始めた文庫ですが、ご利用になる患者さんの強い要望により徐々に規模を広げ、今では蔵書数8千冊を超えるまでになりました。蔵書の種類も増え、患者さんの多様な嗜好と要望にお応えできるようになっています。ご利用の多いコミック、雑誌の他にも、病院の文庫らしい大きな活字の本、病気への理解を深めるための一般向けの簡単な医療本もそろっています。年間の開室日数は240日以上、貸し出し数はおよそ1万4千冊、1日あたり50冊以上の利用があります。

オアシス文庫ボランティア

地域に開かれた市立砺波総合病院として、オアシス文庫は入院患者さんだけでなく、通院の患者さん、患者さんのご家族も利用できるように利用者を限定していません。外来待ち時間のご利用も多くあります。

文庫の場所は、南棟一階の売店前という人の出入りが多く、利用しやすい位置にあり、気晴らしの機会の少ない入院患者さんの憩いのスペース、オアシスとして大変喜ばれています。

アアシス文庫は平日の午前と午後にわたって開室が可能となりました。

また、文庫で患者さんと接しているボランティアの皆さんは、この地域の住民でもあります。病院職員の耳には届きにくい患者さんと市民の声を病院に届け、市立砺波総合病院を支える応援として活躍していただいています。

※オアシス文庫では、随時、書籍の寄贈を受け付けています。(恐れ入りますが病院ですので、清潔感のある本をお願いいたします)

※ボランティアに関するお問合せは
☎ 32-3320 内線2155



病院敷地内禁煙を お願いします

病院には気管支ぜんそく、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、妊婦、赤ちゃんを抱いたお母さんも通っています。

～あなたならきっとできる～

★禁煙開始方法

思い立ったら吉日、いまから禁煙!

市立砺波総合病院 禁煙対策委員会